

有珠山

1 概況

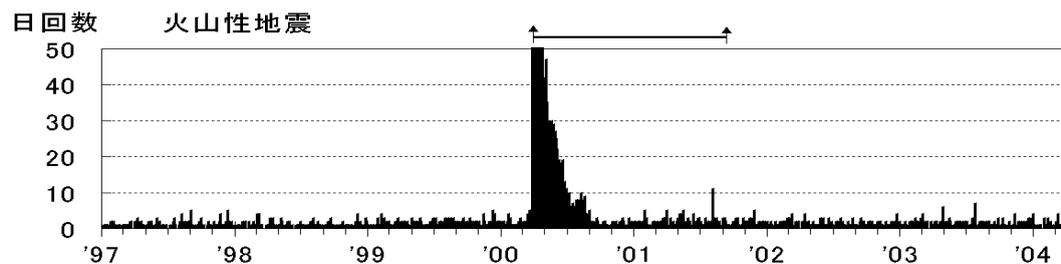
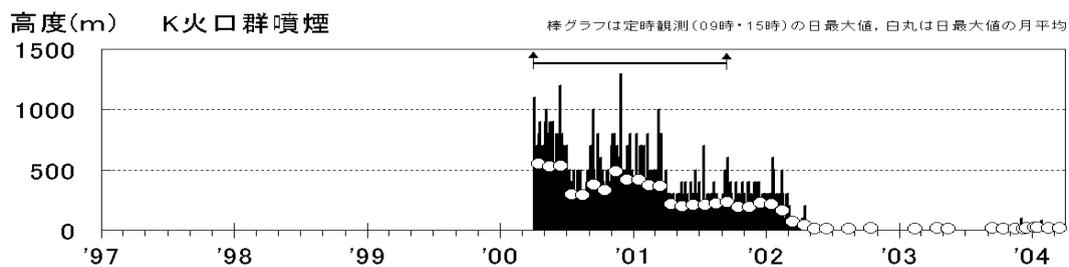
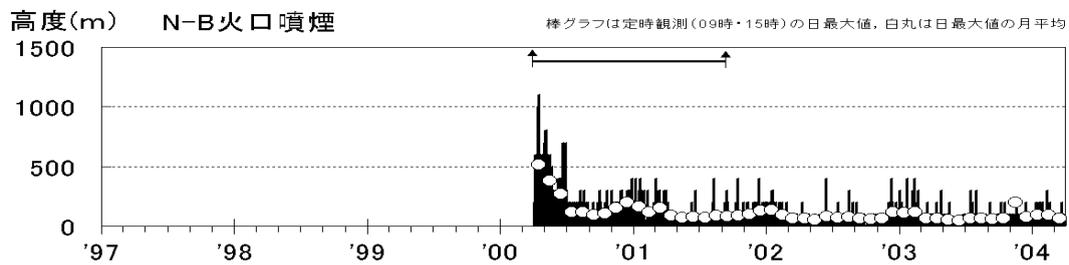
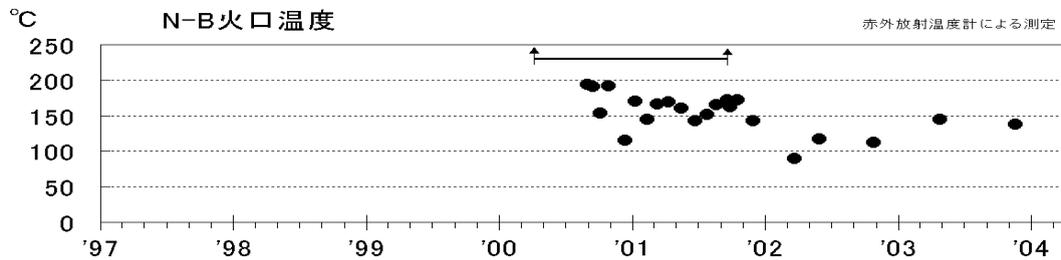
火山活動は静穏な状態が続いています。

2 地震の発生状況

火山性地震の回数は1日あたり0~4回と少ない状態で推移しました。震源はいずれも山頂火口原直下の浅部(海拔下1km前後)に分布しています。火山性微動は観測されませんでした。

月別地震回数(A点)

2003~2004年	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
地震回数	28	17	21	31	17	18	13	20	24	15	21	20
微動回数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0



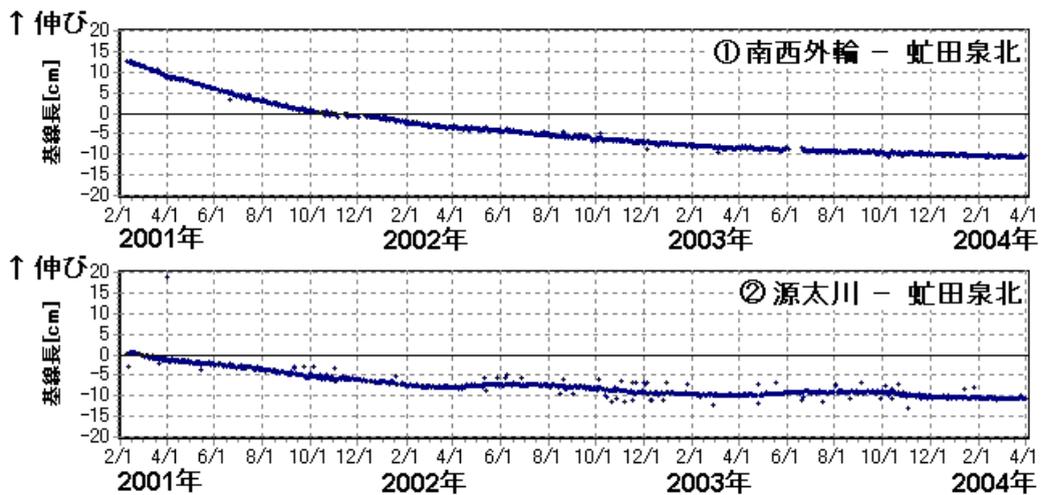
日データによる火山活動経過図(1997年1月1日~2004年3月31日)
で挟まれた期間は2000年噴火活動期

3 噴煙の状況

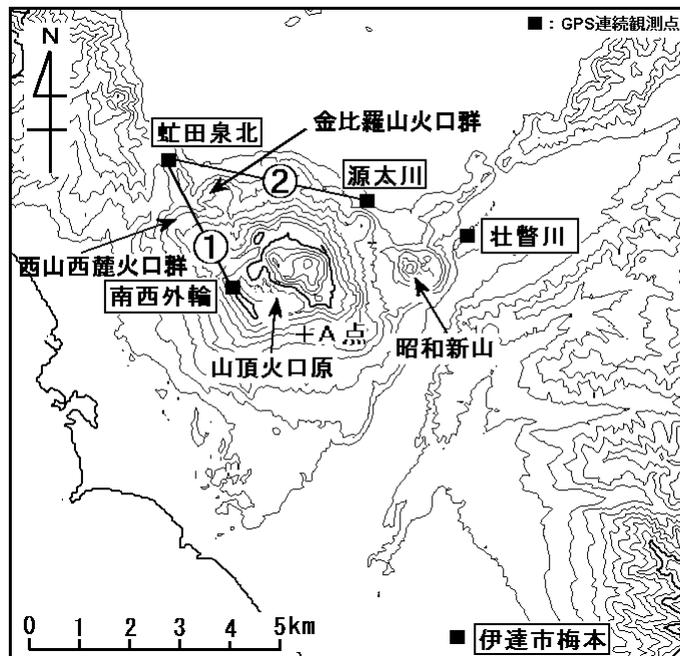
西山西麓（N）火口群にある N-B 火口の噴煙は少ない状態が続いており、噴煙の高さは火口縁上おおむね 100m で推移しました。金比羅山（K）火口群では、時折ごく弱い噴気が観測されました。そのほか、山頂火口原や昭和新山でも少量の噴煙が見られていますが、これまでと比べて特に変わった様子は認められません。

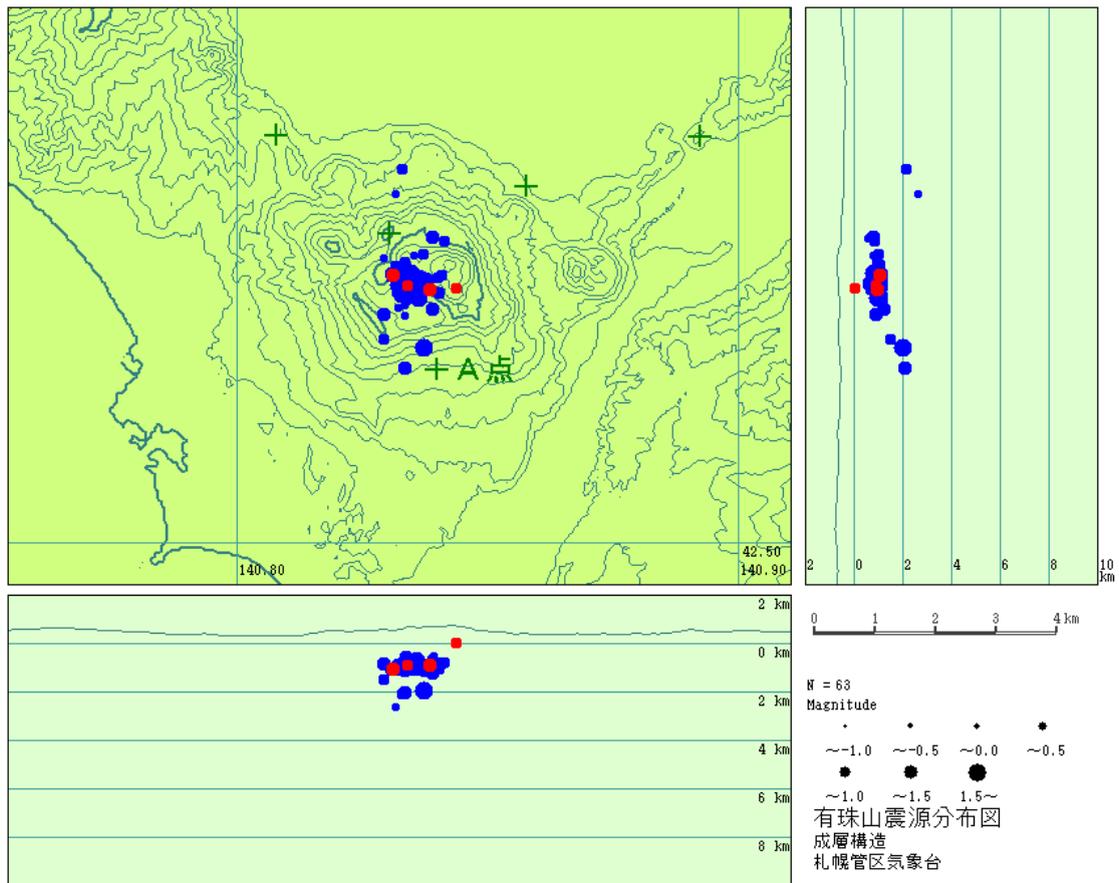
4 地殻変動の状況

GPS 連続観測では西山西麓を中心とする収縮傾向は 2002 年春以降不明瞭となり、その後も特段の変動は認められません。



基線長変化（2001年2月9日～2004年3月31日）





有珠山の震源分布図（丸印：震源、+印：地震観測点）

赤丸は今期間（2004年3月1日～3月31日）に求めた震源を示しています。

青丸は前期間までの1年間（2003年3月1日～2004年2月29日）に求めた震源を示しています。

震源はほとんどが山頂部直下の海拔下1km前後に集中しており、今期間の活動もこの領域内で発生しています。